



チリメンモンスター実習のさまざまな有用性

チリメンモンスター実習の魅力は、なんといっても「さがす」、「より分ける」という人間の潜在的な衝動に訴えかけている点にあるように思われます。チリメンモンスターのヒットに触発され、「小鳥の餌に含まれる雑穀類の分別」や「捕虫ネット・スィーピングで得られた虫の分別」などの実習が開

発され成果をあげています。しかし、食卓によくのぼる食材でとっつきやすく、誰でも楽しむことができながらも奥が深いという点で、チリメンモンスターにまさるものはまだないように思います。以下に、実習としてのチリメンモンスターの有用性を挙げてみました。

1 親しみやすい

ちりめんじゃこは、とくに西日本を中心とした地域では身近な食材であり、大人でも子どもでも見たり、食べたりの経験のある人は多いことでしょう。そのため、生きた魚や標本などに比べると、手にとることへの心理的なハードルは低く、じっくり観察することができます。



3 誰でも楽しむことができる

ちりめんじゃこに混じる生き物をさがし出す作業は、宝さがしのような感覚でとり組むことができ、子どもはもちろん、大人でも楽しめます。子どもより夢中になっているつき添いの保護者や、昔のことを話しながら熱心にさがしている年配の方をよく見かけます。



2 本物である

普段のくらしの中で海の生き物にふれる機会は、思いのほか限られています。チリメンモンスターは、加工される前は実際に海で生活していた生き物たちです。学校や自宅にいながらにして、本物の生き物とふれあうことができます。



4 簡単に実施できる

チリメンモンスターが混じった実習用のちりめんじゃこは、インターネットで購入することができます。それ以外に実習で必要になる道具も、家庭や学校にあるもの、あるいは100円均一ショップなどで安価に入手できるものばかりです。



5 いつでも実施できる

ちりめんじゃこの原料となるシラスは、地域によってはほぼ一年中漁獲されているため、時期を問わず入手が可能です。



また、冷凍庫に入れておけば、長期間保管することができます。

8 保管が簡単

十分に乾燥させれば、常温での保管も可能です。そのため、実習後



は見つけたチリメンモンスターを作品として持ち帰ってもらうことができます。

6 どこでも実施できる

チリメンモンスター混じりの試料と道具類さえあれば、学校の教室や自宅など場所を問わず、どこでも作業することができます。とくに、海のない地域で実施すれば、より多くの方に海のことを身近に感じてもらうきっかけになるでしょう。



9 初心者から専門家までそれぞれの楽しみ方がある

チリメンモンスター実習を通して伝えられることは多岐にわたるため、対象に応じた多様な学びや楽しみ方を提供することができます。まだ専門家も解決できていない、チリメンモンスターをとりまく生態系の謎も数多くあります。



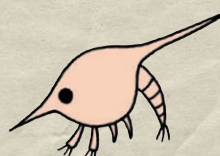
7 何度でも楽しむことができる

チリメンモンスターの顔ぶれは、季節により大きく変わります。また、同じ時期であっても、ちりめんじゃこを獲った場所が違えば出現種も異なるので、何度やっても新しい発見があります。



10 自由にプログラムをアレンジできる

さがし出す作業を中心に15分ほどで人を入れ替えるブース形式、講義を交え60～120分程度の時間をかけて実施するセミナー形式など、



成果物の作成方法やプログラム構成を工夫することで、自由に実施時間を調節することができます。